

学校はブラックなんかじゃない ～持続可能な未来を創る元気な学校にするために～

改革ではなく変革を
今変わらなければ変わらない

平成30年8月8日(水) 9:15～11:15
会場 三加茂中学校



真鍋教育長あいさつ



開会あいさつ
田岡校長会会長



講師 横浜市立日枝(ひえ)小学校
校長 住田昌治氏



長時間労働の文化を壊さないと働き方改革は失敗する

学校の現状と課題

ある特定の人に業務が**集中**
帰りにくい雰囲気が周囲に**感染**
残業に幸福感や達成感を持つなど
感覚が**麻痺**
残業体質が世代や学校を超えて
遺伝

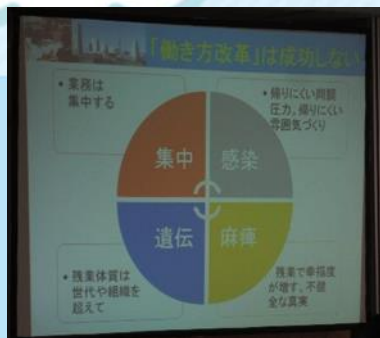


遅くまで残って仕事をすることを評価しない。

忙しさを自慢してはいけない
忙しさを競い合ってはいけない

「お先に失礼します。」

“お先に”は必要なのか。
先に帰ることは申し訳ない
ことなのか。もはや文化に
なっている。



ワークショップ 人生で大切だと思うこと

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5

順位を
意識して
書く



歩きながら意見交換
信頼 健康 家族など
さまざま

「今までどおり」が安心

前例踏襲主義で変えることを好まない。
そんなことやっても無駄だとあきらめている。
でも、子供には「あきらめるな」と言う。
矛盾してませんか？

こうした意識の変革こそ必要

誰かに言われるからやるのでは
効果はない。



そのためには・・・

共有
つながり
自立

働き方“変革”



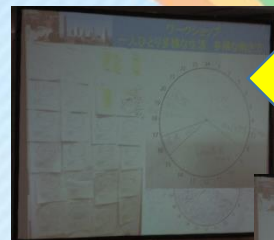


中心に「楽しさ」を置いた土台づくり



楽しさを中心に信頼や人間関係、やりがい、発言権などが取り囲む。このような環境をつくり出すことが必要。

実践例



職員室に掲示し、共有を図る。

企業との
コラボレーション
学校が遅れている
ことを自覚する。



学年ごとの
アクションプラン
中から出てきた意見
で意識を変える。

ワークショップ 理想の1日をデザインする

私が望む一日 デザインワークショップ
「みんなとデザインして、みんなと楽しみ、みんなと輝くこと。そういう人にはかないないよ」

手順
①あなた自身が望む睡眠時間を上の時刻に書きましょう。
②あなた自身が望む起床時間を書きましょう。
③あなた自身が望む帰宅時間を書きましょう。
④あなた自身が望む学校出発時間を書きましょう。
⑤朝、あなた自身が望む朝食時間を書きましょう。
⑥学校やあなたのパフォーマンスを最大限に発揮することが望ましいです。あなた自身が望む一日を満喫するために、どうしたらいいと思いますか？

- ・睡眠時間はどれくらいが望ましいか
- ・夕食の時間は何時くらいがよいか
- ・何時に帰宅すればよいか
- ・何時に学校を出ればよいか
- ・朝は何時に出ればよいか
- ・朝食の時間は何時くらいがよいか

理想の1日の出来上がり
当然のことながら、人によって違う。
働き方も人それぞれであってよい。

カラフル

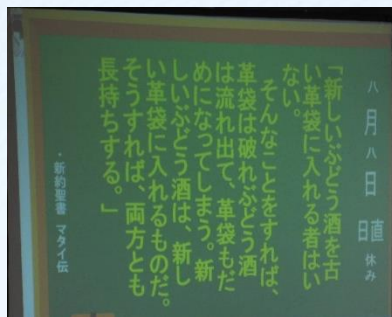
新学習指導要領では

次期学習指導要領 前文

これからの学校には、こうした(教育基本法が定める)教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となる**ことができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

ハードではなくハートを変える

教師が持続可能でないと、持続可能な社会の創り手となる子供を育てられない。



新しいぶどう酒を
古い革袋には入れない。

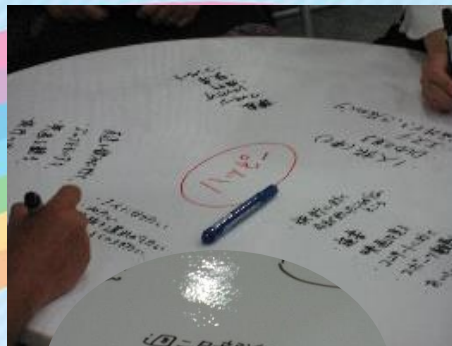
これから求められる教育
を実現するために、
これまでの環境のまま
ではいけない。

ワークショップ「えんたくん」

- テーマ
- ・時間ができたらやってみたいこと
 - ・その時間を生み出すためにどうするか



ホワイトボードになっている円形のテーブルをグループのメンバーの膝の上において、テーマについて自由に自分の考えを書く。自己開示力がすすむ効果がある。アクティブラーニングなどにも活用されている。



HAPPYを中心に
自由に考えを書いていく。

読書や旅行、サイクリングなど
やってみたいことはいろいろ。

そのためには、



- ・協力する
- ・計画的に働く
- ・部活を休みにする
- ・帰りの時間を決める など



歩きながら他のグループの内容を共有する



会場後方に展示

研修は「健康診断」
 これまでの自分の働き方を見つめ直すとともに、
 これからの働き方について考えるよい機会となったようです。



閉会あいさつ
三加茂中 篠原副校長

最後にガンディーの言葉
世の中で目にしたい変化にあなた自身がなりなさい。